

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置した焼山監視カメラでは、^{さげびざわ}叫沢源頭部及び湯沼の噴気の高さは 20 日に一時的に 200m となりましたが、概ね 30m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

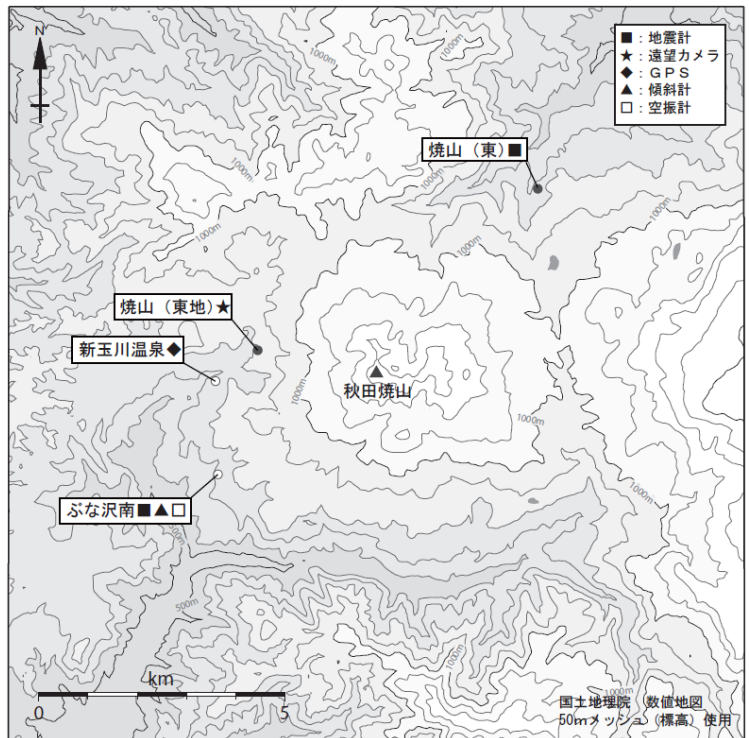


図 1 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 2 月分）は平成 24 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、国土交通省東北地方整備局、国土地理院のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 2* 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状態（1月20日12時50分頃）
 山頂の西約2kmに設置してある焼山監視カメラ（東北地方整備局）による。
 実線赤丸で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ200m。

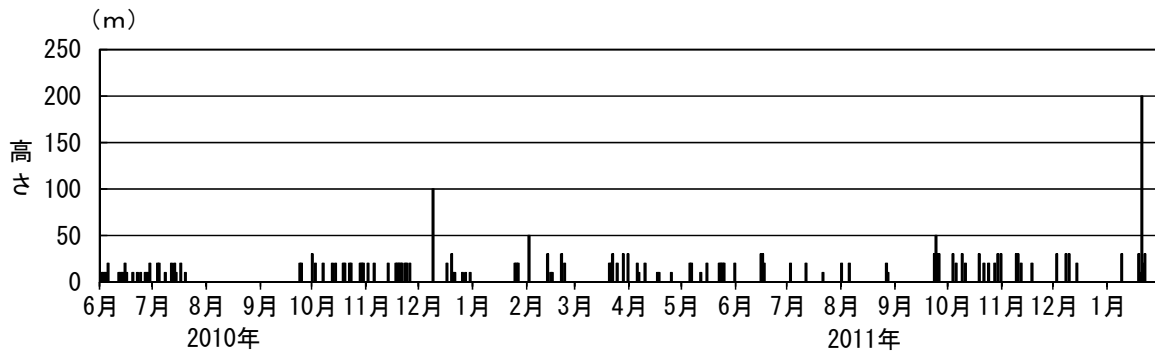


図 3* 秋田焼山 日別最大噴気の高さ（2010年6月～2012年1月）
 2010年6月1日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測開始。

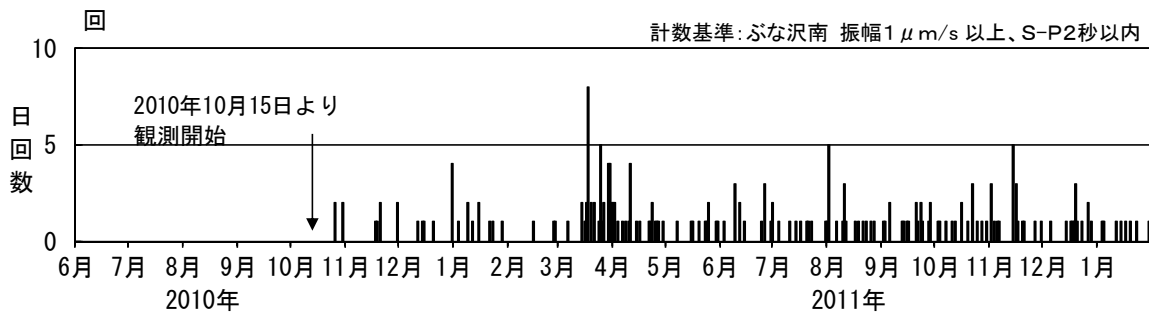


図 4 秋田焼山 火山性地震の日別回数（2010年10月～2012年1月）
 2010年10月15日から観測開始。

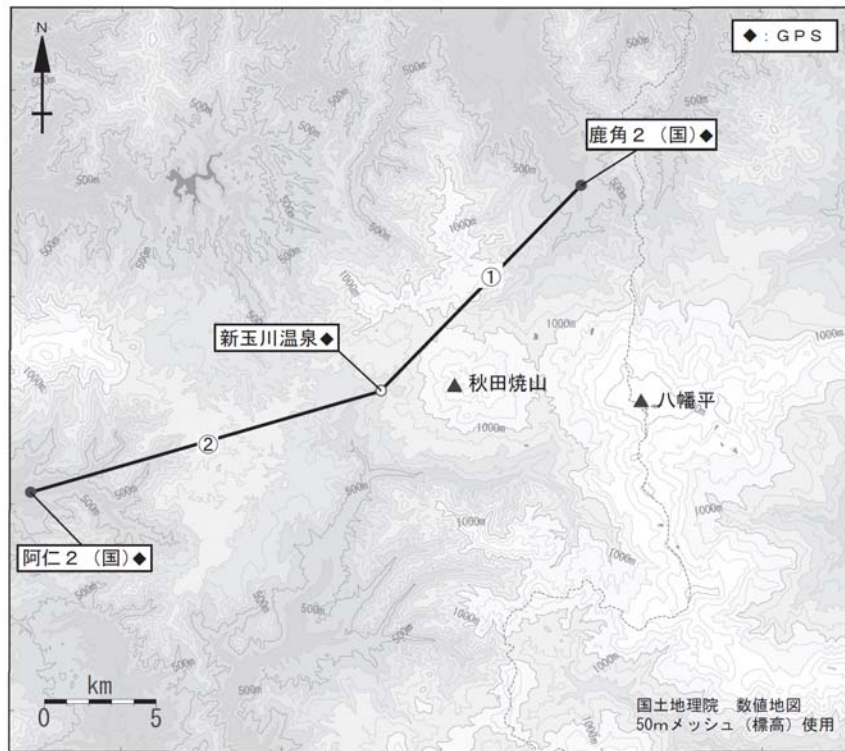


図 5 秋田焼山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。(国)：国土地理院
GPS 基線①～②は図 6 の①～②に対応しています。

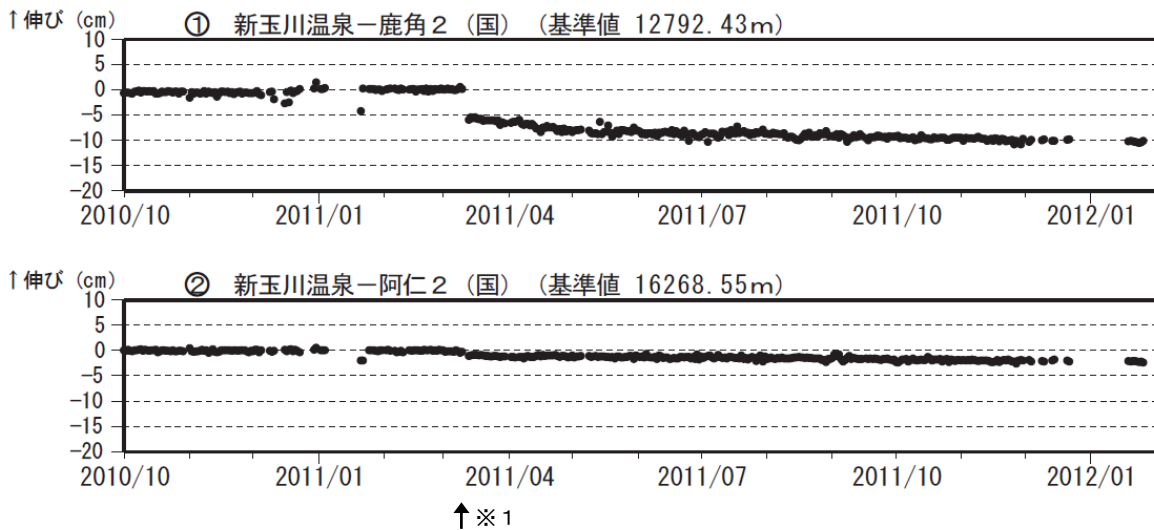


図 6※ 秋田焼山 GPS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2012 年 1 月)

2011 年 3 月 11 日以降の縮みの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。

今月から GPS 連続観測結果の掲載を開始します。

①～②は図 5 の GPS 基線①～②に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

※ 1：2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による